

## V 疾病対策課の業務概要

結核予防事業、感染症予防事業、エイズ予防事業、肝炎予防事業、原爆被爆者対策事業について関係機関と連携を図りながら業務を行っている。

### 1 結核予防事業

結核の新登録患者数は40人で前年比2人減となっている。年末時登録者数は100人で前年比13人減、罹患率(人口10万対)は12.3で0.6減、有病率(人口10万対)は8.0で0.9増、となった。

新登録患者の内訳では、喀痰塗抹陽性患者は11人で前年比2人増、無症状病原体保有者20人で前年比7人減である。

医療が必要な全結核患者(潜在性結核感染症患者を含む)に対して、訪問や面接等でDOTS(直接監視下短期化学療法)を実施している。

また、服薬治療支援のため、君津中央病院を会場にDOTS会議を開催し、患者の支援計画の検討や情報交換を行い服薬支援の徹底に努めた。

### 2 感染症予防事業

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第12条に基づく医師からの届出は、3類感染症の腸管出血性大腸菌感染症が11件、4類感染症のE型肝炎が3件、A型肝炎が3件、レジオネラ症が3件であった。

その他、ノロウイルス等による感染性胃腸炎の集団発生が3件、インフルエンザによる集団発生が5件発生し、社会福祉施設等の従事者に対して感染予防のための講習会を2回140人に実施した。

上記の3・4類感染症及びその他集団発生の疑われる事案については、法律第15条に基づく積極的疫学調査を実施し、感染拡大防止を図った。

### 3 エイズ予防対策事業

中学生を対象に講演会を2回、小学生を対象に講演会を1回、青少年の性教育に関わる養護教諭や助産師等を対象に講演会を1回実施した。

地域住民への周知として、街頭キャンペーン活動等を行い知識の啓発普及を図った。

また、随時相談を受け付け、匿名、無料による定例の昼間・夜間エイズ相談でHIV抗体検査を月2回実施した。さらに、HIV抗体検査にあわせて希望により梅毒・クラミジアの検査及びB型肝炎・C型肝炎検査を実施した。HIV検査は、284人が受検した。

### 4 肝炎対策事業

肝炎ウイルス検査を月2回のHIV抗体検査と同時に実施し、B型肝炎297人、C型肝炎300人が検査を受けた。

### 5 原爆被爆者対策事業

「原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律」に基づき、各種手当の支給及び被爆者の健康診断を年間2回実施した。

## 1 結核予防事業

### (1) 管内結核患者登録者数の動向

表1－(1) 登録者数の年次推移

(単位：人)

年		平成	平成	平成	平成	平成	平成	平成
区分		16年	21年	26年	27年	28年	29年	30年
管内人口		324,099	322,657	325,874	326,810	326,265	325,770	325,360
新登録患者数		70	73	43	61	50	42	40
年末時登録者数		192	147	96	103	123	113	100
結核死亡者数	管内	4	13	1	3	3	5	1
	千葉県	78	62	100	68	71	75	82
結核死亡率 (人口10万対)	管内	1.2	4.0	0.3	0.9	0.9	1.5	0.3
	千葉県	1.5	1.2	1.6	1.3	1.3	1.4	1.6
罹患率 (人口10万対)	管内	21.6	22.6	13.2	18.7	15.3	12.9	12.3
	千葉県	21.4	17.2	13.8	13.7	14.2	11.9	12.0
有病率 (人口10万対)	管内	17.9	15.8	9.5	12.2	12.0	7.1	8.0
	千葉県	18.9	11.9	8.8	9.0	9.1	7.3	7.7

(注) ①人口は各年10月1日千葉県常住人口による。

②千葉県のデータは千葉市を除く。

③新登録患者及び登録者数は、無症状病原体保有者・疑似症患者を除く。

④罹患率：新登録活動性結核患者数×10万 /人口

有病率：年末時活動性結核患者数×10万 /人口

(2) 新登録患者数

表1-(2) 新登録患者数(活動性分類別)

(単位：人)

年 市町村	総 数	活 動 性 結 核					（ 罹 人口 10 万 対 ） 率	占 塗 肺 結 核 の う ち の 割 合 （ % ）	（潜在性結核感染症） 無症状病原体保有者	疑 似 症 患 者	の 結 核 死 亡 者 体	の 結 核 死 亡 疑 い 者 体
		計	活 動 性 肺 結 核			肺 活 外 動 結 核 性						
			陽 喀 痰 塗 性 抹	結 核 菌 陽 性 の	そ の 他 の 陰 性							
平成28年	50	39	17	11	11	11	15.3	43.6	40	0	0	0
平成29年	42	33	9	10	14	9	12.9	27.3	27	0	0	0
平成30年	40	33	11	11	11	7	12.3	33.3	20	0	0	0
木更津市	22	19	6	6	7	3	16.2	31.6	10	-	-	-
君津市	9	8	3	4	1	1	10.8	37.5	4	-	-	-
富津市	4	3	1	1	1	1	9.1	33.3	3	-	-	-
袖ヶ浦市	5	3	1	0	2	2	8.0	33.3	3	-	-	-

(3) 年末時登録者数 (活動性分類別)

表1-(3) 年末時登録者数(活動性分類別)

(単位：人)

年 市町村	総 数	活 動 性 結 核					不 活 動 性 結 核	不 明	（ 有 人口 10 万 対 ） 率	（別掲） （潜在性結核感染症） 無症状病原体保有者	
		計	活 動 性 肺 結 核			肺 活 外 動 結 核 性				治 療 中	観 察 中
			陽 喀 痰 塗 性 抹	登 録 結 核 菌 陽 性 の 時	そ の 他 の 陰 性						
平成28年	123	33	16	8	9	6	55	29	12.0	38	31
平成29年	113	16	6	3	7	7	54	36	7.1	15	14
平成30年	100	24	10	6	8	2	62	12	8.0	18	9
木更津市	49	13	6	2	5	2	27	7	11.1	9	3
君津市	19	5	2	3	0	0	13	1	6.0	3	3
富津市	13	3	1	1	1	0	8	2	6.8	3	1
袖ヶ浦市	19	3	1	0	2	0	14	2	4.8	3	2

(4) 新登録患者数 (年齢階級別)

表 1 - (4) 新登録患者数(年齢階級別)

(単位：人)

年 市町村	区分	総 数	0	10	20	30	40	50	60	70	80	90
			9 歳	19 歳	29 歳	39 歳	49 歳	59 歳	69 歳	79 歳	89 歳	90 歳 以上
平成 28 年		50	0	0	0	2	5	6	12	10	12	3
平成 29 年		42	0	0	1	3	3	3	8	11	8	5
平成 30 年		40	1	0	2	1	3	4	8	6	11	4
木更津市		22	0	-	2	1	2	3	5	2	5	2
君津市		9	0	-	0	0	0	1	2	1	4	1
富津市		4	0	-	0	0	0	0	0	2	2	0
袖ヶ浦市		5	1	-	0	0	1	0	1	1	0	1

(5) 年末時登録者数 (年齢階級別)

表 1 - (5) 年末時登録者数 (年齢階級別)

(単位：人)

年 市町村	区分	総 数	0	10	20	30	40	50	60	70	80	90
			9 歳	19 歳	29 歳	39 歳	49 歳	59 歳	69 歳	79 歳	89 歳	90 歳 以上
平成 28 年		123	0	1	3	8	17	13	25	33	17	6
平成 29 年		113	0	0	3	8	17	10	23	28	17	7
平成 30 年		100	1	0	3	6	8	12	19	22	19	10
木更津市		49	0	-	2	2	3	9	12	10	8	3
君津市		19	0	-	0	2	2	2	1	5	4	3
富津市		13	0	-	0	0	1	1	1	4	3	3
袖ヶ浦市		19	1	-	1	2	2	0	5	3	4	1

(6) 患者面接実施状況

表1-(6) 患者面接実施状況

年		区分	人数(人)	DOTS内容(延件数)											
				登録時喀痰塗抹陽性						喀痰塗抹陰性			潜在性結核		
				入院時			退院後			訪問面接	所内面接	電話・その他	訪問面接	所内面接	電話・その他
				訪問回数	左の内訳		訪問面接	所内面接	電話・その他						
初回	期間内	退院前													
平成28年	保健師	3	40	12	22	6	20	25	89	74	84	244	9	22	65
	DOTS支援員	3	-	-	-	-	28	-	18	65	2	95	-	-	46
平成29年	保健師	4	15	8	7	0	20	4	56	27	71	110	2	64	92
	DOTS支援員	3	-	-	-	-	13	-	13	20	-	39	5	1	32
平成30年	保健師	3	49	9	39	1	31	9	33	64	54	93	21	30	78
	DOTS支援員	6	1	-	1	-	23	-	3	18	-	15	2	0	3
平成30年患者数(人)			10						33			20			

※平成27年度以降は年(1月1日~12月31日)で集計

(7) DOTS実施状況

表1-(7) DOTS実施状況

(単位:人)

年		区分	全結核患者			潜在性結核感染症
				肺結核患者(再掲)		
				肺結核喀痰塗抹陽性患者(再掲)		
平成28年	実施者数	54	36	12	19	
	患者数※	55	36	12	19	
平成29年	実施者数	61	37	7	24	
	患者数※	64	37	7	27	
平成30年	実施者数	38	31	10	20	
	患者数※	38	31	10	20	

※前年の新登録患者数(転入者を含み、治療開始1ヶ月未満に死亡した者及び転出者を除く)。

※平成27年1月7日付け健感発0107第1号厚生労働省健康局結核感染症課長通知「結核に関する特定感染症予防指針」に掲げる具体的な目標の計算方法について(情報提供)を参照

(8) 結核接触者健康診断実施状況

ア 家族健診実施状況

表1－(8)－ア 家族健診実施状況

区分 年	対象者数 (実人数) ①	実施者数 (実人数) ②	実施率 ②/① (%)	実施件数 (延件数)	実施項目 (延件数)					結 果 (実人数)				
					I G R A ※	ツ 反	エ ッ ク ス 線	喀痰検査		異常なし	発病のおそれ	潜在性結核感染症	要医療 ③	要医療率 ③/② (%)
								塗 抹	培 養					
平成 28 年	49	44	89.8	63	25	1	37	0	0	38	0	4	2	4.5
平成 29 年	58	56	96.6	75	43	1	31	0	0	54	0	2	0	0.0
平成 30 年	40	40	100.0	48	28	2	18	0	0	36	0	2	2	5.0
保 健 所	/			37	27	0	10	-	-	/				
委 託 分				5	1	2	2	-	-					
そ の 他				6	0	0	6	-	-					

※保健所採血等による実施は保健所に、受診券による実施は委託分に計上

イ 接触者健診実施状況

表1－(8)－イ 接触者健診実施状況

区分 年	対象者数 (実人数) ①	実施者数 (実人数) ②	実施率 ②/① (%)	実施件数 (延件数)	実施項目 (延件数)					結 果 (実人数)				
					I G R A ※	ツ 反	エ ッ ク ス 線	喀痰検査		異常なし	発病のおそれ	潜在性結核感染症	要医療 ③	要医療率 ③/② (%)
								塗 抹	培 養					
平成 28 年	520	495	95.2	689	493	4	192	0	0	470	0	24	1	0.2
平成 29 年	342	332	97.1	427	240	1	186	0	0	325	0	7	0	0.0
平成 30 年	402	395	98.3	470	296	4	170	0	0	383	0	11	1	0.3
保 健 所	/			213	151	0	62	-	-	/				
委 託 分				108	67	4	37	-	-					
そ の 他				149	78	0	71	-	-					

※保健所採血等による実施は保健所に、受診券による実施は委託分に計上

(9) 管理健診実施状況

表1-(9) 管理健診実施状況

区分 年	対象者数 (実人数) ①	実施者数 (実人数) ②	実施率 ②/① (%)	実施件数 (延件数)	エックス線撮影	喀痰検査		結果(実人数)			
						塗抹	培養	観察不要	経過観察	要医療 ③	要医療率 ③/② (%)
平成28年	127	107	84.2	147	147	0	0	95	12	0	-
平成29年	131	119	90.8	169	169	0	0	100	19	0	-
平成30年	119	109	91.6	167	167	0	0	68	41	0	-
保健所	/			71	71	-	-	/			
委託分				7	7	-	-				
その他				89	89	-	-				

(10) 結核医療費公費負担診査状況

表1-(10)-ア 通院患者に対する結核医療費公費負担診査状況(37条の2) (単位:件)

区分 年	総数			被用者保険						国民健康保険			後期高齢者			生活保護法			その他		
				本人			家族			保険											
	諮問	合格	不合格	諮問	合格	不合格	諮問	合格	不合格	諮問	合格	不合格	諮問	合格	不合格	諮問	合格	不合格	諮問	合格	不合格
平成28年	126	125	1	36	36	0	17	17	0	42	42	0	31	30	1	0	-	-	0	-	-
平成29年	72	72	0	28	28	0	6	6	0	11	11	0	20	20	0	7	7	0	0	-	-
平成30年	70	65	5	25	20	5	10	10	0	19	19	0	16	16	0	0	-	-	0	-	-

表1-(10)-イ 入院患者に対する結核医療費公費負担状況(37条) (単位:件)

区分 年	総数	被用者保険			国民健康 保険	後期高齢者	生活保護法	その他
		本人	家族					
平成28年	19	7	1	4	7	0	0	
平成29年	11	1	0	1	7	2	0	
平成30年	12	4	0	0	8	0	0	

※実人数で計上

(11) 就業制限通知及び入院勧告並びに入院措置数

表1-(11)-ア 就業制限通知数 (単位:件)

区分 年	総数
平成28年	19
平成29年	10
平成30年	12

表1-(11)-イ 入院勧告数 (単位:件)

区分 年	応急入院勧告数 (19条第1項)	入院勧告数 (20条第1項)	入院延長通知数 (20条第4項)
平成28年	19	19	21
平成29年	10	10	9
平成30年	12	12	11

表1-(11)-ウ 入院措置数

(単位:件)

区分 年	入院措置数
平成28年	0
平成29年	0
平成30年	0



(12) ツベルクリン反応検査・IGRA検査実施状況

表1-(12)-ア ツベルクリン反応検査実施状況

(単位：件)

年	ツ反検査数(延件数)		発赤径			被検者の年齢		
	保健所	委託分	陰性	30mm未満	30mm以上	未就学児	小学生	その他
平成28年	0	5	5	0	0	4	1	0
平成29年	0	2	1	1	0	2	0	0
平成30年	0	6	2	4	0	6	0	0

表1-(12)-イ IGRA検査実施状況 (単位：件)

年	IGRA検査数(延件数)		結果			
	保健所	委託分	陰性	判定保留	陽性	判定不可
平成28年	485	14	445	22	31	1
平成29年	275	7	245	20	16	1
平成30年	178	146	278	23	20	3

(13) エックス線検査実施状況

表1-(13) エックス線検査実施状況

(単位：件)

年	総数		接触者		管理	
	保健所	委託分	保健所	委託分	保健所	委託分
平成28年	176	50	140	48	36	2
平成29年	183	34	128	31	55	3
平成30年	143	46	72	39	71	7

## (14) 定期結核健康診断実施報告状況

表1- (14) 定期結核健康診断実施報告状況

(単位:人)

年 区分	項目	対象者数 ①	健診者数 ②	健診率 ②/① (%)	間接撮影 件数	直接撮影 件数	喀痰検査 件数	発病のおそれ がある者の 数	患者発見数 ③	患者発見率 ③/② (%)
	平成28年		113,174	30,036	26.5	14,617	15,419	42	1	0
平成29年		115,930	32,555	28.1	7,731	24,820	247	5	0	-
平成30年		115,332	31,467	27.3	902	30,560	51	3	0	-
内 訳	学校長 (高校以上の生徒・学生)	4,027	4,027	100.0	60	3,967	-	0	0	-
	施設長 福祉施設入所者 (65歳以上)	2,068	2,039	98.6	2	2,036	14	0	0	-
	施設長 その他施設 入所者	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	事業者	13,228	12,843	97.1	840	11,999	37	0	0	-
	市町村長	96,009	12,558	13.1	0	12,558	0	3	0	-

※間接撮影及び直接撮影を実施せず喀痰検査のみの4名を含む

## (15) 結核予防啓発活動実施状況

表1- (15) 結核予防啓発活動実施状況

実施日	場 所	形 態	テ ー マ	実施対象	参加人数 (人)
平成30年 6月11日	特別養護老人ホーム 山の手フラワービル	講習会	結核について知ろう!	同施設介護士 看護師 生活相談員	34
7月20日	君津保健所	情報提供	長引く咳、たん、微熱に注 意!結核かもしれません!	管内高齢者施 設職員	74

## 2 感染症予防事業

### (1) 1類感染症発生状況

表2-(1) 1類感染症発生状況 (単位:人)

年	疾患名	人数	市町村
平成30年	—	—	—

### (2) 2類感染症発生状況(結核は除く)

表2-(2) 2類感染症発生状況 (単位:人)

年	疾患名	人数	市町村
平成30年	—	—	—

### (3) 3類感染症発生状況

表2-(3) 3類感染症発生状況 (単位:人)

病類 年・市町村	総数	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性	腸チフス	パラチフス
				大腸菌 感染症		
平成28年	2	—	—	2	—	—
平成29年	5	—	—	5	—	—
平成30年	11	—	—	11	—	—
木更津市	5	—	—	5	—	—
君津市	2	—	—	2	—	—
富津市	2	—	—	2	—	—
袖ヶ浦市	2	—	—	2	—	—
その他 (管外)	0	—	—	0	—	—

## (4) 4類感染症発生状況

表2-(4) 4類感染症病発生状況

(単位:人)

疾患名		平成28年	平成29年	平成30年
1	E型肝炎	2	2	3
2	ウエストナイル熱	—	—	—
3	A型肝炎	—	2	3
4	エキノコックス症	—	—	—
5	黄熱	—	—	—
6	オウム病	—	—	—
7	オムスク出血熱	—	—	—
8	回帰熱	—	—	—
9	キャサヌル森林病	—	—	—
10	Q熱	—	—	—
11	狂犬病	—	—	—
12	コクシジオイデス症	—	—	—
13	サル痘	—	—	—
14	ジカウイルス感染症	—	—	—
15	重症熱性血小板減少症候群(病原体がフ レボウイルス属SFTSウイルスであ るものに限る。)	—	—	—
16	腎症候性出血熱	—	—	—
17	西部ウマ脳炎	—	—	—
18	ダニ媒介脳炎	—	—	—
19	炭疽	—	—	—
20	チグングニア熱	—	—	—
21	つつが虫病	—	1	—
22	デング熱	—	—	—
23	東部ウマ脳炎	—	—	—
24	鳥インフルエンザ(鳥インフルエンザ (H5N1及びH7N9)を除く)	—	—	—
25	ニパウイルス感染症	—	—	—
26	日本紅斑熱	1	2	—
27	日本脳炎	—	—	—
28	ハンタウイルス肺症候群	—	—	—
29	Bウイルス病	—	—	—
30	鼻疽	—	—	—
31	ブルセラ症	—	—	—
32	ベネズエラウマ脳炎	—	—	—
33	ヘンドラウイルス感染症	—	—	—
34	発しんチフス	—	—	—
35	ボツリヌス症	—	—	—
36	マラリア	—	—	—
37	野兎病	—	—	—
38	ライム病	—	—	—
39	リッサウイルス感染症	—	—	—
40	リフトバレー熱	—	—	—
41	類鼻疽	—	—	—
42	レジオネラ症	2	1	3
43	レプトスピラ症	—	—	—
44	ロッキー山紅斑熱	—	—	—

※14の疾患は平成28年2月より届出の対象となった。

(5) 5類感染症発生状況

ア 感染症発生動向調査事業に基づく全数把握対象感染症

表2- (5) -ア 5類感染症発生状況

(単位：人)

疾患名		平成28年	平成29年	平成30年
1	アメーバ赤痢	1	1	—
2	ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く)	2	2	2
3	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	2	2	3
4	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)	—	—	—
5	急性脳炎(ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く)	—	6	7
6	クリプトスポリジウム症	—	—	—
7	クロイツフェルト・ヤコブ病	2	1	—
8	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	3	3
9	後天性免疫不全症候群	2	4	—
10	ジアルジア症	—	—	—
11	侵襲性インフルエンザ菌感染症	—	—	—
12	侵襲性髄膜炎菌感染症	—	—	—
13	侵襲性肺炎球菌感染症	6	9	7
14	水痘(入院例に限る)	—	—	—
15	先天性風しん症候群	—	—	—
16	梅毒	4	4	9
17	播種性クリプトコックス症	—	—	1
18	破傷風	—	—	—
19	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	—	—	—
20	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	—	—	—
21	百日咳	—	—	15
22	風しん	—	2	8
23	麻しん	—	—	—
24	薬剤耐性アシネトバクター感染症	—	—	—

※21の疾患は平成30年1月1日より小児科定点把握疾患から全数把握疾患となった。

4の疾患は平成30年5月1日より5類の全数把握疾患となった。

イ 感染症発生動向調査事業に基づく定点報告状況

(ア) 患者定点

a 患者定点医療機関

表2-(5)-イ-(ア)-a 患者定点医療機関数 (単位:箇所)

インフルエンザ	小 児 科	眼 科	性 感 染 症	基 幹	疑 似 症
13	8	2	2	1	18

b 定点把握対象疾患

表2-(5)-イ-(ア)-b 定点把握対象疾患状況 (単位:人)

疾患名	平成28年	平成29年	平成30年
1 インフルエンザ(鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く)	5,418	6,075	6,306
2 RSウイルス感染症	16	26	26
3 咽頭結膜熱	37	273	151
4 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1,857	1,619	750
5 感染性胃腸炎	1,542	994	902
6 水痘	127	117	152
7 手足口病	487	557	313
8 伝染性紅斑	136	32	97
9 突発性発しん	109	83	94
10 百日咳	—	—	—
11 ヘルパンギーナ	124	94	87
12 流行性耳下腺炎	133	42	33
13 急性出血性結膜炎	2	1	—
14 流行性角結膜炎	44	27	42
15 性器クラミジア感染症	19	14	30
16 性器ヘルペスウイルス感染症	21	13	33
17 尖圭コンジローマ	—	2	6
18 淋菌感染症	7	1	1
19 感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る)	10	20	14
20 クラミジア肺炎(オウム病を除く)	—	1	—
21 細菌性髄膜炎(髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く)	—	—	—
22 マイコプラズマ肺炎	143	100	80
23 無菌性髄膜炎	—	—	—
24 ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	1	—	—
25 メシチリン耐性黄色ブドウ菌感染	28	42	47
26 薬剤耐性緑膿菌感染症	1	—	1

(イ) 病原体定点

表 2 - (5) - イ - (イ) 病原体定点医療機関及び検体提供数

区 分	インフルエンザ	小 児 科	眼 科	基 幹
医療機関数 (箇所)	1	1	—	1
検体提供数 (件)	14	18	—	13

(6) その他

表 2 - (6) インフルエンザ様疾患届出状況 (単位：件)

年度 区分	届 出 施設数	届 出 患者数	措 置			
			学 級 閉鎖数	学 年 閉鎖数	休校数	その他
平成 28 年度	109	1,539	83	23	3	—
平成 29 年度	204	1,686	175	29	3	—
平成 30 年度	121	1,379	141	27	1	—
幼 稚 園	4	66	9	—	—	—
小 学 校	97	1,061	112	21	—	—
中 学 校	18	252	17	6	—	—
高 等 学 校	2	—	3	—	1	—
そ の 他	—	—	—	—	—	—

(7) 感染症発生に伴う健康調査及び検査実施状況

ア 1 類感染症

表 2 - (7) - ア 1 類感染症発生に伴う健康調査及び検査実施状況

年度	病類	疾 患 名	調 査 (人)	検 査 (件)
平成 30 年度		—	—	—

イ 2 類感染症

表 2 - (7) - イ 2 類感染症発生に伴う健康調査及び検査実施状況 (結核は除く)

年度	病類	疾 患 名	調 査 (人)	検 査 (件)
平成 30 年度		—	—	—

ウ 3類感染症

表 2 - (7) - ウ 3類感染症発生に伴う健康調査及び検便実施状況

(単位：調査(人)，検便(件))

病類 年度	総数		コレラ		細菌性赤痢		腸管出血性 大腸菌 感染症		腸チフス		パラチフス		菌陽性者数
	調査	検便	調査	検便	調査	検便	調査	検便	調査	検便	調査	検便	
平成 28 年度	25	25	—	—	—	—	25	25	—	—	—	—	0
平成 29 年度	15	20	—	—	—	—	15	20	—	—	—	—	4
平成 30 年度	34	63	—	—	2	2	32	61	—	—	—	—	2

エ 4類感染症

表 2 - (7) - エ 4類感染症健康調査状況

(単位：人)

区分	疾患名	調査
平成 30 年度	E 型肝炎 (1 件)	9
	A 型肝炎 (4 件)	10
	レジオネラ症 (3 件)	7
	つつが虫病 (3 件)	3

オ 5類感染症

表 2 - (7) - オ 5類感染症健康調査状況

(単位：人)

区分	疾患名	調査
平成 30 年度	インフルエンザ (5 件)	752
	風しん (疑い含む) (25 件)	252
	麻疹 (疑い含む) (11 件)	251
	感染性胃腸炎 (3 件)	1,281



(8) 管外での感染症発生（疑いを含む）に伴う調査状況及び検便実施状況

表2-(8) 管外での感染症発生（疑いを含む）に伴う調査数及び検便実施数

(単位：調査(人))

区分 年度	総 数	管外での感染症 発生に伴う調査数 (検疫通報除く)	自主申告による 調査数	接 触 者 及 び 同 行 者 の 調 査 数	検 疫 通 報 に 伴 う の 調 査 数	検 出 菌			
						コ レ ラ	赤 痢	0 157	そ の 他
平成28年度	2	2	—	—	2	—	—	—	—
平成29年度	2	2	—	—	2	—	—	—	—
平成30年度	2	2	—	—	—	—	—	—	—

(9) 衛生研究所への確認検査依頼数

表2-(9) 衛生研究所への確認検査依頼数 (単位：件)

区分	疾 患 名	結 果		計
		陽 性	陰 性	
	感染性胃腸炎	5	0	5
	風しん(疑い含む)	6	11	17
	麻疹(疑い含む)	1	7	8

(10) 就業制限通知数（結核を除く）

表2-(10) 就業制限通知数 (単位：件)

区分 年度	疾 患 名			計
	腸管出血性大腸 菌感染症			
平成28年度	3	-	-	3
平成29年度	4	-	-	4
平成30年度	11	-	-	11

(11) 感染症予防啓発活動実施状況

表2-(11) 感染症予防啓発活動実施状況

実施日	場 所	テ ー マ	実施対象	参加人数 (人)
平成30年 6月5日	君津保健所	平成30年度感染対策研修会	管内病院・消 防機関・市関 係職員	66人
7月20日	君津保健所	平成30年度感染対策研修会	管内高齢者・ 障害者施設、 市福祉担当職 員	74人
7月27日	君津保健所	平成30年度院内感染対策研修会	管内病院職員	53人

(12) 感染症健康危機管理事業

表2-(12)-ア 新型インフルエンザ等地域医療委員会開催状況

開催日	参加人数	主な内容
—	—	—

表2-(12)-イ 新型インフルエンザ等訓練、その他の会議

開催日	参加人数	主な内容
平成30年 9月28日	27人	新型インフルエンザ発生時対応訓練
平成31年 2月14日	9人	市町村の新型インフルエンザ対策に関する連絡 会

### 3 エイズ対策事業

#### (1) エイズ予防啓発活動実施状況

##### ア 講演会・講習会等開催状況

表3-(1)-ア 講演会・講習会等実施状況

実施日	場 所	活動内容	テ ー マ	対 象	参加人数 (人)
平成30年 6月28日	木更津市立 木更津第一中 学校	講演会	「自分と相手を大切にす るってどういうこと?!」	3年生他	82人
7月19日	富津市立 大貫中学校	講演会	「自分と相手を大切にす るってどういうこと?!」	3年生他	63人
11月22日	袖ヶ浦市立 平岡小学校	講演会	「つながっているいのち ～大切な心と体～」	6年生親子 他	70人
11月26日	君津健康福祉 センター	講演・講 習会	「多様性を認め子どもの 自己肯定感を育てる～ク ラスに1～2人いるかもし れない性的マイノリティ」	管内養護教 諭・助産師・ 保健師等	32人

##### イ HIV検査普及週間・世界エイズデー等のイベント実施状況

表3-(1)-イ HIV検査普及週間・世界エイズデー等のイベント実施状況

実 施 日	主 な 内 容
平成30年 7月7日	6.26ヤング街頭キャンペーンにおけるエイズキャンペーン エイズ予防啓発パンフレット・グッズの配付
平成30年 10月27日	「君津健康と福祉のふれあいまつり」におけるエイズキャンペーン エイズ予防啓発パンフレット・グッズの配付

#### (2) エイズ相談受付状況

表3-(2) エイズ相談受付状況 (単位：件)

年度	性別	相談方法	性別		小計	合計
			男	女		
平成28年度		電話相談	5	3	8	228
		来所相談	140	80	220	
		そ の 他	-	-	-	
平成29年度		電話相談	8	-	8	240
		来所相談	153	78	231	
		そ の 他	1	-	1	
平成30年度		電話相談	8	1	9	295
		来所相談	198	88	286	
		そ の 他	-	-	-	

(3) HIV・性感染症・肝炎検査受付状況

表3-(3)-ア HIV検査受付状況 (単位: 件)

年度 年齢階級		性別		合計	外国籍 者数(人)	確認検査 件数
		男	女			
平成28年度		131	71	202	-	2
平成29年度		172	83	255	4	1
平成30年度		196	88	284	7	1
年 齢 階 級	～19歳	2	4	6	-	-
	20歳～29歳	67	38	105	6	-
	30歳～39歳	68	22	90	1	1
	40歳～49歳	33	18	52	-	-
	50歳～59歳	14	2	16	-	-
	60歳～69歳	7	3	10	-	-
	70歳～	5	1	6	-	-
	不明	-	-	-	-	-

表3-(3)-イ 性感染症・肝炎検査受付状況 (単位: 件)

年度 性別		クラミジア検査			梅毒血清検査			肝炎検査					
								C型肝炎検査			B型肝炎検査		
		計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女
平成28年度		189	127	62	199	128	71	212	136	76	214	136	78
平成29年度		200	139	61	249	166	83	259	174	85	259	173	86
平成30年度		240	173	67	275	186	89	300	204	96	297	203	94

※クラミジア検査は平成27年度から病原体検査、それ以前は抗体検査

※肝炎検査は肝炎対策事業として実施

#### 4 原爆被爆者対策事業

被爆者の健康増進を図るため、被爆者健康診断及び健康相談を年2回実施し、健康の保持増進を図った。

##### (1) 被爆者手帳交付状況

表4- (1) 被爆者手帳交付状況 (単位：件)

区分 年度 市町村	前年度末 手帳交付数	新規	転入	転出	死亡	当該年度末 手帳交付数
平成28年度	123(1)	1	2	3	8	115(1)
平成29年度	115(1)	0	1	1	4	112(1)
平成30年度	112(1)	0	1	0	4	109(1)
木更津市	58(-)	-	0	-	1	57(-)
君津市	25(1)	-	0	-	2	23(1)
富津市	11(-)	-	0	-	1	10(-)
袖ヶ浦市	18(-)	-	1	-	0	19(-)

(注) ( ) は被爆者健康診断受診証交付数で総数に含まず。

##### (2) 被爆者健康診断実施状況

表4- (2) 被爆者健康診断実施状況 (単位：人)

年度	施設		対象者数	受診者数	受診率(%)	要精検者数
平成28年度	保健所	前期	121	19	15.7	8
		後期	119	20	16.8	12
	委託医療機関		-	7	-	3
平成29年度	保健所	前期	115	17	14.8	3
		後期	109	18	16.5	1
	委託医療機関		-	14	-	5
平成30年度	保健所	前期	107	17	15.9	1
		後期	107	20	18.7	1
	委託医療機関		-	15	-	5

(3) 特別措置法に基づく各種手当の支給状況

表4-(3) 特別措置法に基づく各種手当の支給状況 (単位：件)

区分 \ 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
総 数	106	101	99
医 療 特 別 手 当	5	5	5
特 別 手 当	0	0	-
原 子 爆 弾 小 頭 症 手 当	0	0	-
健 康 管 理 手 当	89	87	84
保 健 手 当	5	5	6
介 護 手 当	0	0	0
埋 葬 料	7	4	4
健 康 手 当	94	92	89

(注) 健康手当は、県単独事業であり総数に含まず。